

予防接種の啓発・信頼確立のための プラットフォームづくり

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
堀 成美（感染症対策専門職）



国立国際医療研究センター：予防接種の取り組み

1) 予防接種に関する研修会の開催

「予防接種基礎講座」※

「トラベラーズワクチン講習会」

2) 渡航者支援：キャッチアップ接種、海外留学・赴任

3) 特別なケアニーズのある患者支援：免疫不全者など

4) 夜間・休日緊急対応：曝露事故（狂犬病、B型肝炎など）

5) VPDアウトブレイク時の緊急対応

例：風疹流行時の際の「臨時 日曜ワクチン外来」開設

例：日本語学校での水痘アウトブレイク時の助言

2017年 予防接種支援センター 開設

【取り組み事例】 ※予防接種基礎講座 (2015年～2017年)

●目的

安全に予防接種を行うために必要な訓練の機会を医療者に提供する

●企画

厚生労働省健康局健康課

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター

●参加者

予防接種に関わる医師・看護師 等（約200名が参加）

●学習内容

安全に予防接種を行うために必要な知識と技術の習得。

制度、免疫、事故防止、保管、記録、アナフィラキシー対応など

講習会資料は自治体等に送付し周知
e-learningとして公開準備中

【新設】 予防接種支援センター：活動

現在、市民・学校/企業などが困っていること、医療現場の負荷となっていることについての課題解決を関係者とともに提案・実践することにより、予防接種についての信頼を確立・強化する。

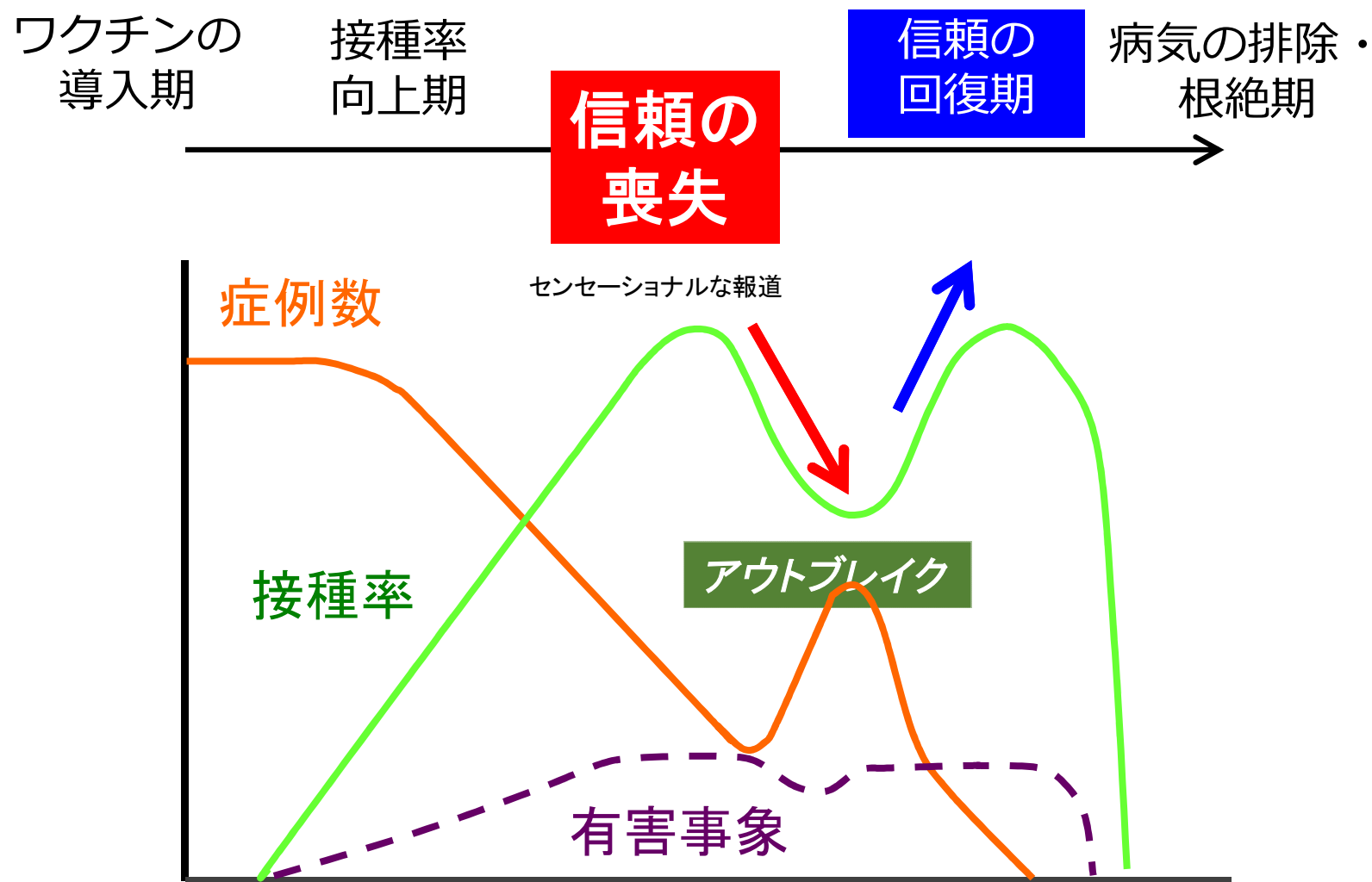
- 1) 各地の予防接種センターと連携した研修会の開催
- 2) より多様な対象向けの講習会・啓発・e-learningの企画
- 3) 多言語・多文化対応の情報発信
- 4) 予防接種の理解・信頼のための研究と国際連携

【検討中】

相談対応

現在、ホームページ公開準備中

信頼を重視する理由：接種率への影響



プロトキンら監修 Vaccine 6版のモデルを元に作成

予防接種支援センター開設の背景①

～皆が困っていること（例）～

「どこに情報があるかわからない」

「どれが正しい情報なのかわからない」

「新しい情報なのか確認が難しい」

「相談をしたいが、かかりつけ医療機関の医師やスタッフは忙しそうだ」

「予防接種は主業務ではないので時間をかけて調べたり勉強するのが難しい」

「多忙な診療の中で十分な相談時間を確保できない」

「外国人から問い合わせられても答えられない」

信頼の要素：問題解決・支援をする姿勢

予防接種の情報が必要になるとき

- 妊娠計画時
- 妊娠中（子育て準備情報として）
- 乳幼児期のワクチン接種
- 思春期のワクチン接種
- 進学時（麻疹・風疹ワクチン等の接種歴の確認）
- 海外渡航時（修学旅行・留学など）
- 就職時
- 転勤時（海外勤務）
- 高齢期のワクチン接種
- アウトブレイク発生時

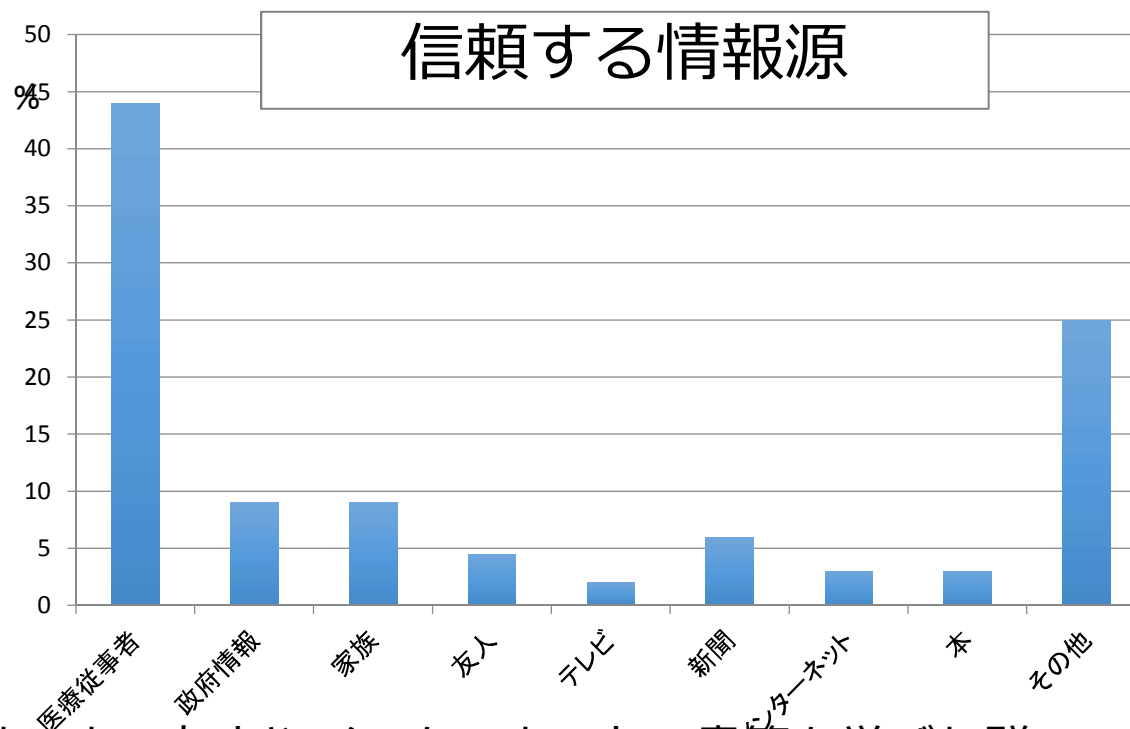
信頼の要素：対象にあわせた具体的な情報

予防接種支援センター開設の背景②

～どのような情報を信用するか～

- インターネット調査（2014年）
- 回答者 日本人男女
3,140人
（年齢：20-69歳）

予防接種の推奨情報を
信用する 71.6%
不信感 「ある」 5%
「まあある」 24%



医療従事者を挙げた群を基準とすると、友人やインターネット、書籍を挙げた群では不信感を持っている人が有意に多かった。

Wada and Smith BMC Public Health (2015) 15:426

信頼の要素：医療者も積極的に発信を

予防接種支援センター開設の背景③

～すでにある「予防接種センター」の応用～

「予防接種センター機能推進事業」 (20県33カ所：2017年4月現在)

- 予防接種の実施
- 国民への予防接種に関する正しい知識や情報の提供
- 医療相談事業
- 医療従事者向け研修の実施

都内・他県の医療者とも連携・共有

予防接種情報の目指す方向性

- 商業バイアスのかからない情報づくり
- 公的なサイトへの集約
- PDFだけでなく、スマホなどでも読みやすい情報を増やす
- 事務伝達的な情報だけでなく、「予防接種は大切だ」「ぜひうってほしい」「これだけ効果や意味がある」という情報を伝えていく

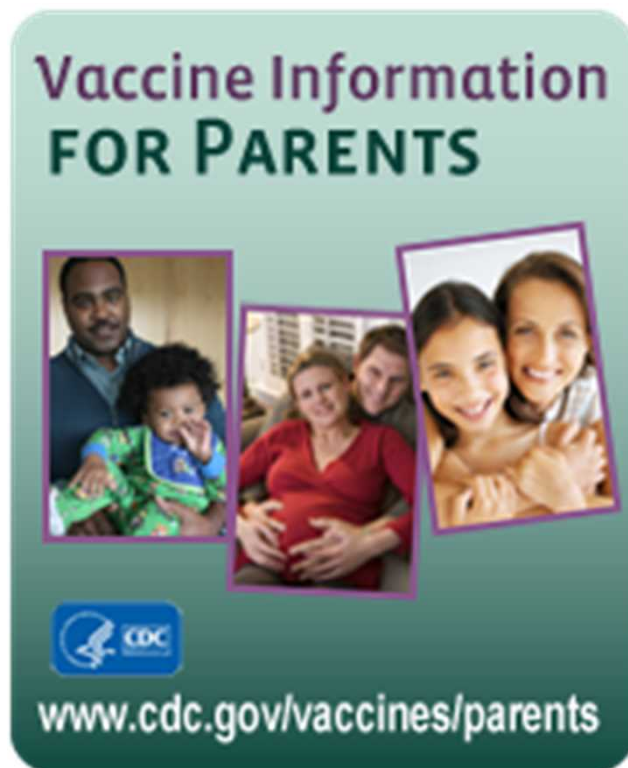
行政や専門家のコミュニケーションの努力

対象別の情報整理と発信の工夫(例)

for Parents (保護者)

for Health Care Worker (医療関係者)

for Media (報道関係者)



米国CDC



英国NHS

信頼に必要な要素

- 正確な情報である
 - 定期更新され最新の情報である
 - わかりやすく伝える努力がある
 - 利害関係が可視化されている
-
- 問題指摘に対して改善の検討がある
 - 疑問や問い合わせに対して回答がある

信頼を妨げる要因をなくす努力も必要